

1 経営理念

<input type="checkbox"/> 学校教育目標 確かな学力を持ち、夢や志に向けて能動的に活動する生徒の育成
<input type="checkbox"/> めざす学校像 <input type="checkbox"/> 信頼される学校 ①安心・安全な学校（自他ともに安心して、楽しく生活できる） ②確かな学力を身に付けさせる学校（学力の向上） ③夢をかなえる学校（自己の成長や良さが実感でき、夢と自信が育つ） ④美しい学校（環境、礼節、一生懸命が美しい） ⑤社会に貢献する学校（地域と連携して地域の活性化に貢献できる）

2 経営目標・評価指標・評価等

【評定 S：100%，A：100%未満～90%以上，B：90%未満～70%以上，C：70%未満～50%以上，D：50%未満～0%】

	中期経営目標	短期経営目標 (達成目標)	評価指標	評価	成果(○)・課題(▼)等	今後の取組・改善策
確かな学力	○基礎・基本の学力の確実な習得、思考力・判断力・表現力の向上を図る。	○各種学力検査で、国または県の平均を上回る。	○本校が国や県の平均以上	B	【全国学力】 ○学校平均は県、国の平均を3教科のうち全てが上回った。 ▼正答率30%未満の生徒が4名いる。 ▼無解答が14問あった。 【三次市到達度】 ○学校平均は県、国の平均を10教科のうち7教科が上回った。 ▼正答率30%未満の生徒が3名いる。 ▼無解答が1年生で64問、2年生で9問あった。	・木曜日の放課後などを利用し、個別指導を行うようにしているが、宿題忘れの取組中心となり教科学力の指導ができていない。宿題忘れが無くなるように家庭と連携し木曜日の学力補充時間の確保に努める。 ・個に焦点化した学習活動を取り入れ、授業改善を行う。 ・ドリル学習や家庭学習を充実させ基礎学力の定着を図る。
		○各種検定及びコンクール等、応募の生徒割合を高める。	○生徒全員が英検、漢検、数検のいずれかを受検する。 ○外部主催の各種検定及びコンクール等で、生徒全員が一つ以上受賞する。	B	○英検、漢検、数検のいずれかを受検した生徒は、19/25である。 ○外部主催の各種検定及びコンクール等で、受賞した生徒は、23/25である。	・今年度、各種検定を受けていない生徒は6人いた。来年度は、全員がいずれかの検定を受けるように各教科で促す。 ・表彰や入賞作品の紹介によって、表現することへの意欲を高め、コンクール等に積極的に応募させていく。
		○基本的学習習慣を定着させる。 ・家庭学習習慣の定着 2時間以上家庭学習を行う。 ・読書習慣の定着 年間15冊以上本を読む。	○生徒全員が2時間以上家庭学習を行い、年間15冊以上本を読んでいる。	D	○昨年は、家庭学習をまったくしていないという生徒が1名いたが、今年度は0人になった。しかし1時間未満が3名、2時間未満13名で計16名いる。 ▼教科の宿題等の未提出者が固定化している。 ○よく読書ができる生徒で、1月現在で50冊を超えている生徒が3名いる。 ▼読書については、1月時点で既に15冊を超えている生徒も9名いるが、よく読む生徒と、読まない生徒が固定化している。	・今年度は、自主学習ノートの取組を実施している。しかし実態として自主学習ができていない生徒もいるため、できていない生徒への声掛けを行う。 ・復習や予習など、自学習と関連させ取組を継続して進める。 ・今年の居残り学習は、毎週木曜日とし集中して取り組みを進めている。 ・今年度は、小学校と連携しアウトメディア取組を推進している。この取り組みとコラボして読書の取組を進める。 ・これまで通り、教職員による本の紹介や推薦図書展示などを行う。
豊かな心	○礼儀や規範意識を身につけ、場に応じた行動のできる自律した生徒を育てる。	○当たり前のことが、立派にできる生徒の育成を図る。 ・レベル5の挨拶ができる。 ・校則、時間、掃除、整理整頓等、ルールを守って生活できる。	○生徒全員が、式、朝会、授業、来客への対応等の場で、レベル5の挨拶ができています。 ○生徒全員が、校則と時間を守り、掃除や身の回りの整理整頓ができています。	B	【挨拶】 ▼「レベル5の挨拶ができる」は、肯定的表が7月調査では全て90%以上であったが、12月調査では、70%から80%に低下した。 ▼「地域の方に進んで挨拶をする」は昨年100%で今年度7月調査では95.8%で、12月調査では87.0%と段々挨拶の意識が低下している。 【ルール】 ○「時間を守っている」の項目についてはこれまで通り肯定的評価が高い。 ○教職員が時間を意識して行動することで、生徒へ抑止力につながっている。 ▼全体的には校則を意識し、ルールを守ることができているが、7月調査に比べて全ての項目について低下している。 【掃除】 ○掃除の始まりと終わりはこれまで通り全体が集合し挨拶をしてスター。終わりは、リーダーが反省を述べて終了する。この取組で掃除への意識を高めることができているので今後も継続していく。 ▼掃除に対する肯定的評価はあまり悪くないが、掃除の質を考えたときはもっと指導が必要と思われる。 【身の周りの整頓】 ○評価としては悪くはないが、整理整頓については90%以上の評価にしたい。 ▼整理整頓ができない生徒が固定化されている。特に机の中やカバンの中が整理されていない。	【挨拶】 ・職員室への挨拶（登校時、下校時）はできるようになったが、「レベル5の挨拶」や「地域の方に進んで挨拶をする」がだんだん低下している。時と場に応じた挨拶ができるように意識させる取り組みを行う。 【ルール】 ・ルールやマナーについて、入試や社会に出て通用するよう指導を行う。又、小中一貫を意識した生徒指導規程の見直しを継続して行う。 ・2分前行動を意識させ、授業モードへの切り替えの指導を継続する。 ・職員自ら、教科の時間は勿論、HR、部活も含め時間を意識した行動をとる。 【掃除】 ・職員が必ず掃除につき、掃除の仕方の指導を含め全体指導と個別指導を続ける。 ・無言で、時間いっぱい掃除ができるよう掃除リーダーを中心にレベルアップを図る。 【身の周りの整頓】 ・教師が範を見せて、生徒への指導を徹底する。 ・教室や各ロッカーなどの整理整頓を意識させるために毎日、下校後の教室点検を行う。
	○自己肯定感を高め、思いやり心をもった生徒を育てる。	○生徒全員が「自分には良いところがある」「周りから認められている」と感じている。	○生徒全員が、自分のことを肯定的に自己評価し、周りから認められていると感じている。	B	▼「自分に良いところがある」は、中間評価に比べ最終評価が、1.1ポイント低下した。 ▼「自分は周りから認められている」も中間評価に比べ最終評価が、5.4ポイント低下した。	・本校の資質能力である「自らへの自信」を高めるための場面を設定し、意識させた取り組みを行う。 ・生徒同士の認め合いや、生徒の良い部分を見つけ出し、肯定的評価を行う。 ・ありがとうカードを定期的実施し、個々の自己肯定感の向上を図る。 ・生徒個々の自信を持たせる取組を継続し、教師が積極的に肯定的な評価を行う。
健やかな体	○基礎体力を向上させ、活力ある生徒を育てる。	○基本的な生活習慣が身につけている。 ・朝ごはんの定着	○生徒全員が、朝食を食べている。 ○栄養士と連携した食育指導を年1回以上実施する。	A	○栄養士が配膳及び給食の状況を視察し各クラスの食育指導を実施した。 ▼昨年は全生徒が朝食を食べていたが、今年度は2名の生徒が朝食を時々食べていない。	・全生徒の朝食が100%になるよう家庭と連携し取り組む。 ・調理場栄養士と連携し、食育指導の継続と保護者への啓発活動を行う。
		○部活や各種体力つくりを充実させる。	○部活や体力つくりに参加し、体力が向上したと感じている。	B	○全体的には肯定的評価が高い。 ▼部活や各種体力つくりに参加しているが、体力の向上とまでは感じていない生徒が3名いる。	・生徒一人一人が充実した部活動が送れるよう内容と指導を充実させる。 ・引き続き、スポーツテストの結果を活用した運動内容や基礎体力を向上させる内容を設定し、継続して取り組む。
信頼される学校	○学んでよかったと思える学校をつくる。	○生徒が授業や学校生活に満足している。	○生徒全員が、「授業はわかる」「学校が楽しい」と肯定的に評価している。	A	○「授業はわかる」は、中間評価に比べ最終評価が、0.9ポイント向上した。 ▼「学校は楽しい」は、中間評価に比べ最終評価が、4.7ポイント低下した。	・これまでと同様に授業改善に係る研修を充実させ、授業改善を図る。 ・授業の振り返りをもとに、授業改善を図る。 ・学習相談等の個人面談を継続すると共に充実させる。
		○保護者が本校教育に満足している。 ・安心と満足	○保護者全員が、「安心」して学校に通わせており、教育活動に「満足」していると肯定的に評価している。	A	○「安心して通わせている」は、前年度に比べ10.7ポイント向上した。 ○「教育に満足している」は、15.9ポイント向上した。 ○「生徒は行事や活動にいそいそ取り組んでいる」は、昨年度の最終評価では肯定的評価が65.0%であったが、今年度の最終評価では100%になった。 ▼「地域教材を活用した授業づくりを行っている」は、中間評価では肯定的評価が100%であったが、最終評価では87%に減少した。 ▼昨年度より保護者アンケート等、肯定的評価が向上しているが、否定的評価が無くならない。	・生徒の学校に対する学習面・生活面共に満足度を100%にする。 ・HPのリニューアルに伴い、本校の特色を載せ随時更新することで保護者に学校の状況が伝わるようにする。 ・保護者や地域の要望を真摯に受け止め改善計画に活かす。 ・地域教材を活用した取り組みは継続しているが、保護者への浸透がないように思われる。そのため通信やHP等で生徒の活動が見えるようにしていく。 ・行事アンケートや学校評価アンケートの結果を共有し課題解決に向けて取り組む。

